

脱炭素事業に関する村民説明会【日岐地区】開催要旨

日 時	令和6年2月15日（木） 午後6時～午後7時35分
場 所	日岐生活改善センター
参加者	22名（村民21名、議員1名）

【質問者】

敷地内の太陽光パネルの設置について、調査後どうなりましたか。

【平林建設】

村全体の調査完了後に、集計作業を行います。結果がまとまり次第順次ご連絡していきます。

【質問者】

太陽光パネルの種類は、環境省が指定しているものがあるのですか。

【平林建設】

環境省の補助基準に基づいて、受注までに決めていきます。

【質問者】

太陽光パネルは重量が重く、田舎の家屋に設置出来ないのが問題かと思います。もっと軽量なパネルに出来ませんか。

【平林建設】

5年間かけて設置していく中、随時性能の良い太陽光パネルを検討していきます。屋根に設置が出来ない場合、例えば庭先で空いているスペースや車庫の上など、様々な形で設置することが可能ですので、ご相談ください。

【質問者】

日岐区域の野立ての設置数は、現在どの程度予定されていますか。

【藤澤村長】

今の段階では結果的なものは出ていません。精査されるまでお待ちください。

【質問者】

では、日岐地区において電気料がトータル何 kW 必要で、それは太陽光パネル何枚分になるかわかりますか。

【エコロミ】

2022年12月現在、日岐の世帯数は73件でした。73件×12.8kW×365日+公民館などが、1年間に必要となる電力量になります。太陽光パネルの枚数は、太陽光が適さない地区とそれを補う地区など、全村単位で算出していきます。現在平林建設と私で、精査している段階です。

【質問者】

全村で太陽光パネルは何枚必要ですか。

【エコロミ】

環境省に申請を出した時は、太陽光パネルは5900kW程度という数値でした。主流の太陽光対応電池モジュールが大体1枚0.5kWです。1kW当たり2枚と考えると、5900×2で、11,800枚になります。

【質問者】

耐用年数がきて更新する時の補償は、株式会社いくさかてらす（以下、「いくさかてらす」という。）がするのですか。

【平林建設】

更新費用も含め、いくさかてらすが行います。

【質問者】

前回の説明会で要望した、省エネ機器の導入補助が実現されていて良かったです。ですが、調査段階の具体的な数字が今回も提示されていません。村全体で11,800枚のパネルが必要とのことですが、現時点での見込み量や、野立ての具体的な数、それに対して例えば、高効率空調機器を大量に設置した場合にパネルの枚数を減らせるのか伺いたいです。

【村づくり推進室長】

現在調査はまだ途中段階であり、調査結果や集計は年度末までに行う予定です。明確になった情報については、この説明会に限らず配信していきたいと思っております。

【エコロミ】

省エネ機器の導入がどの程度進むかについて、仮で置いている数値があります。年末には村全体で751世帯ありました。現在は、30%の導入で年間電力消費量296万kWh、約10%の電力削減の仮定で進めています。しかし、省エネ機器を50%導入し、15%の電力を削減した場合で計算すると、年間電力消費量は約330万kWhになります。この数字が実現できれば、野立てを減らすことができます。

【質問者】

今お話しいただいた内容、数字だとわかりにくい部分があるので、出来れば絵や図で示して欲しいです。

【総務課長】

考慮して、出来るだけわかりやすい方法で発信していきたいと思います。

【質問者】

事業全体の予算配分を明示してください。特に自営線マイクログリッドの予算と、その使い道。それから地震で倒壊した家屋の上に太陽光パネルが載っていると、ショートなど問題があると思うのですが。

【村づくり推進室長】

前回の7月の説明会では、企画提案の段階で、総事業費が60億円、内訳はいくさかてらすの太陽光発電に30億円、自営線マイクログリッドや、小水力などに30億円との説明をいたしました。全体の事業費は、例えばマイクログリッドの事業費が少ない場合、省エネ機器の導入など他の分野で調整が可能となります。事業費が固まり次第お示ししていきます。

【エコロミ】

マイクログリッドは、電力の地産地消ということで、村で発電した電力を利用することで、災害時にも安定した電力の供給が可能となります。

【牛越副村長】

地震時の太陽光パネルについては、耐震基準を満たした安全な家屋に設置する考えです。昭和56年以前の基準に満たない家屋には設置いたしません。ですが、耐震診断と改修を行うことで設置が可能になる場合があります。また現在耐震改修には、上限100万円の補助金があります。長野県では、追加で50万円支給することを検討しています。

【質問者】

この間行われたいくさか未来スクールのように、村民の声や気持ちを反映させる機会をもっと増やして欲しいです。

【村づくり推進室長】

学習会や車座の集会など、村民の理解を深める機会を実施していきたいと思います。

【質問者】

生坂村は人口問題が一番の課題であり、この事業による雇用創出が重要なテーマになると思っています。いくさかてらすでは、何人の雇用を見込んでいますか。

【エコロミ】

申請時に計画がありました。全村 750 世帯のうち約半数が加入した場合、いくさかてらすは、フルタイムでおそらく 4 人程度。仕事内容は、検診と太陽光パネルのメンテナンスなど。あとは薪ストーブやペレットストーブが村に普及すると、材を出すための林業関係の作業員が 3 人程度。仮にペレット工場を設立する場合は、1 人。その他に、65 歳以上の方々や、シルバー人材センター等の仕事量をもっと増やせるようにしたいとの考えもあります。一時的な雇用等全て含めると、数十人という形になるかと思えます。

【質問者】

中部電力との契約は、最大で 30 アンペアです。PHEV（プラグインハイブリッド）車の充電をし、生活家電を使うとブレーカーが落ちます。太陽光と蓄電池を設置すると、解消されますか。また、村内に充電可能な場を設ける計画がありますが、不便なので家に充電器を設置して欲しいです。

【エコロミ】

調査前なので仮の話になりますが、30 アンペアで、約 7 kW 出力の太陽光パネルと約 15kWh の蓄電池を使う場合、20kW 程度発電します。昼間は太陽光で電力をまかない、余剰分を蓄電池に蓄えれば、夜はその電力で日常生活をまかなえます。しかし PHEV 車にフル充電するのは辛いかと思えますので、その分は電気を購入すれば、30 アンペアで足りると想像します。それから急速充電器ですが、家庭に設置するのは難しいです。

【質問者】

電気を購入する際は、中部電力といくさかてらす、両方契約するのですか。

【エコロミ】

電力はいくさかてらすからの購入になり、中部電力との契約はなくなります。

【質問者】

電気代が日本一安くなれば、移住者を呼び込めます。世帯数が増えれば、いくさかてらすの収入も増えると思います。電気代はもっと安くなりませんか。

【牛越副村長】

設備利用者が増えれば値下げも考えられますが、いくさかてらすの運営、村の政策にも影響するため、状況を確認しながら進めていきたいと思っています。

【質問者】

効率が一番いい太陽光パネルをいれましょう。

【牛越副村長】

環境省で認められた製品の中から、村の財政運営も考慮しつつ、補助金の範囲内で最高のもを導入したいと現在検討しています。もし何か知識やご提案がありましたら、ぜひ村の方にご連絡をお願いいたします。

【質問者】

太陽光パネルの設置について、村営住宅に関しては、どのような対応になっていますか。また、太陽光パネルについて、デメリットも明確に提示してもらえると、設置の判断基準になります。

【牛越副村長】

太陽光パネルの設置は、住んでいる方と家屋の状況の調査をしながら進められます。各個人の意見を尊重しながら、デメリットにならないよう考慮しつつ、設置の可否を判断していきたいと思っています。

【村づくり推進室長】

現在村営住宅については、住民の同意を得られれば、設置する方向で進めていきたいと思っています。6月には電気料金や他の情報についてもお示ししていく予定です。リスクに対しても、安心出来るよう情報をお示ししていきたいと思っています。

【質問者】

契約期間はどのくらいですか。太陽光パネルを将来取り外す際の違約金や撤去の費用は個人負担となるのでしょうか。それから契約をしなくても、省エネ機器の補助は受けられるのでしょうか。

【村づくり推進室長】

基本的に長期契約を想定していますが、具体的な契約期間は現在決まっています。6月にお示しします。途中解約についても、精査してお示しします。省エネ機器の補助は、電気契約をしていなくても対象となります。

【質問者】

契約途中で亡くなった場合の手続きなどについても、知りたいです。

【牛越副村長】

他の地区でも同じ意見がありました。今は、説明会で皆さんのご意見を収集しているところです。今年の6月をめどに、調整していきたいと思います。

【質問者】

野立ての太陽光の土地調査に当たって、区長や区の役員が場所をあげていますが、住民の声が反映されなかったとの話を聞きました。

【藤澤村長】

野立ての設置箇所については候補地として示していただきました。現在その候補地が適しているか調査をしています。設置箇所を決定していくには、その地域の住民の意見をお聞きし、最終的に決定していきます。

【質問者】

アンケート結果では、23%の人が事業についてわからないと回答されています。対話型の場を設けて村民の意見を聞き、深く理解してもらえればと思います。

【村づくり推進室長】

車座学習機会など、根気よくご理解いただけるよう様々な機会を設けて、引き続き進めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【質問者】

来年度の予算策定を進めていると思いますが、この事業の事業別予算配分について、具体的な数字を示せませんか。

【牛越副村長】

来年度の予算は村長査定が終わり、現在最終の編成作業を行っているところです。議会からの議決を得て予算が決定したら、お示しします。

【質問者】

3月の議会でこの6年度の事業の予算が決まると思いますが、今この資料を見て、現時点でほとんどの決定事項がない中、予算が審議されて6年度に実施されるという順番に疑問を感じています。

それからいくさかてらすの契約が何件入れば、採算ベースに乗るのか知りたいです。

【牛越副村長】

本日の資料には予算に関する情報は含まれていません。ただし、事業計画や村の方針については示しています。予算の構成については、議会の議決後にお示しをしていきたいと思います。

【エコロミ】

申請時ですが、いくさかてらすの契約が751世帯のうち約427世帯、およそ60%弱の方が契約した場合、採算ベースに乗ると算出しました。実際はもう少し低くなるかもしれません。ただ一方で、数が少なければ人件費や設備投資も減ります。電気料金を上げれば利益がでますが、ご要望を考慮して低く設定すると返済に長期間かかります。どの程度なら採算が合うのか、現在金融機関と協議をしている最中です。ですので、お示しが6月くらいになってしまいます。

【質問者】

本当に良い事業であれば、住民は税金負担をしてでも行っていきたいと思います。電気が安くても高くても、良いことであれば進めていただきたいです。